



2024年1月期 第3四半期 決算説明資料

ベステラ株式会社
東証プライム(証券コード:1433)

決算のポイント

売上高

5,862百万円

- 売上高は、対前年1,998百万円(51.7%)増
- 工事受注量の増加により、増収
- 第3四半期会計期間(2,533百万円)、第3四半期累計期間(5,862百万円)ともに過去最高売上

営業利益

100百万円

- 営業利益は、大型の進行基準工事の順調な進捗により、対前年93百万円増
- 売上総利益率は、16.6%(前年同期17.0%)

受注残高

8,370百万円

- 受注残高は、電力・製鉄・石油業界で大型工事の受注があり、対前年4,788百万円(133.7%)増
- 受注工事高は、10,698百万円を記録
対前年5,008百万円(88.0%)増の過去最高額

業績予想

- 2023年9月8日付で当初業績予想を修正
- 修正後の業績予想は、売上高8,000百万円、営業利益210百万円を見込む

損益計算書: 第3四半期(2024年1月期)

売上高は、工事受注量の増加により、前年同期比51.7%の増収となりました。営業利益は、大幅な増収により、人材採用等への積極的な投資費用を吸収し、前年同期より93百万円増加しております。

単位: 百万円

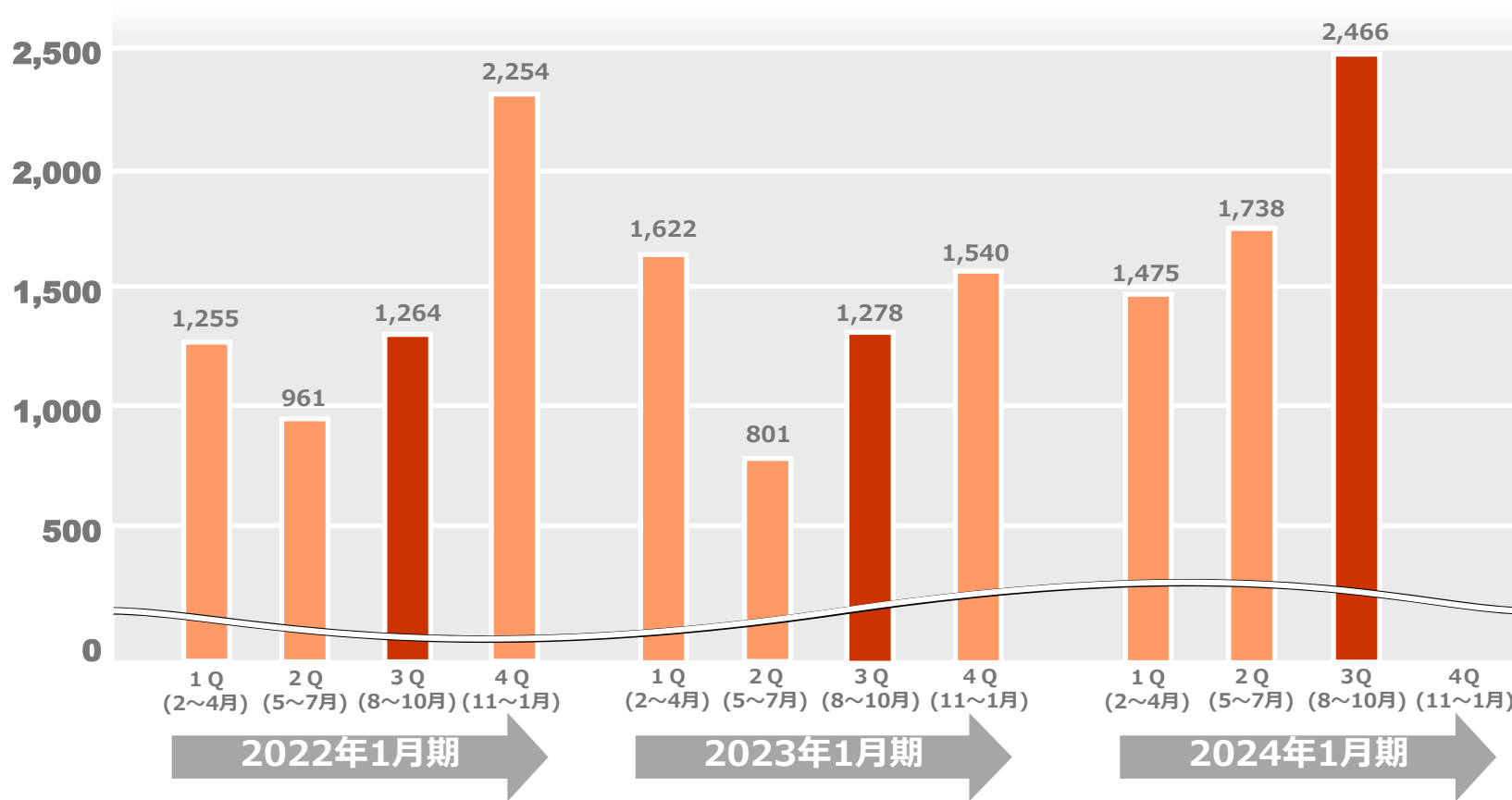
	2024年1月期 第3四半期	対売上高 比率	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	5,862	—	3,863	1,998	51.7%
(脱炭素解体ソリューション)	(5,595)	—	—	—	—
(DXプラントソリューション)	(266)	—	—	—	—
売上総利益	972	16.6%	656	315	48.0%
販売費及び 一般管理費	871	14.9%	649	221	34.2%
営業利益	100	1.7%	7	93	1,262.9%
経常利益	212	3.6%	77	134	173.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	101	1.7%	16	84	503.4%

完成工事高の推移について

当社の完成工事高は、例年、顧客(施主)の設備投資計画に応じた季節性がありますが、2024年1月期は、工事受注量の増加を背景に、季節性を問わず順調に積み上がっております。

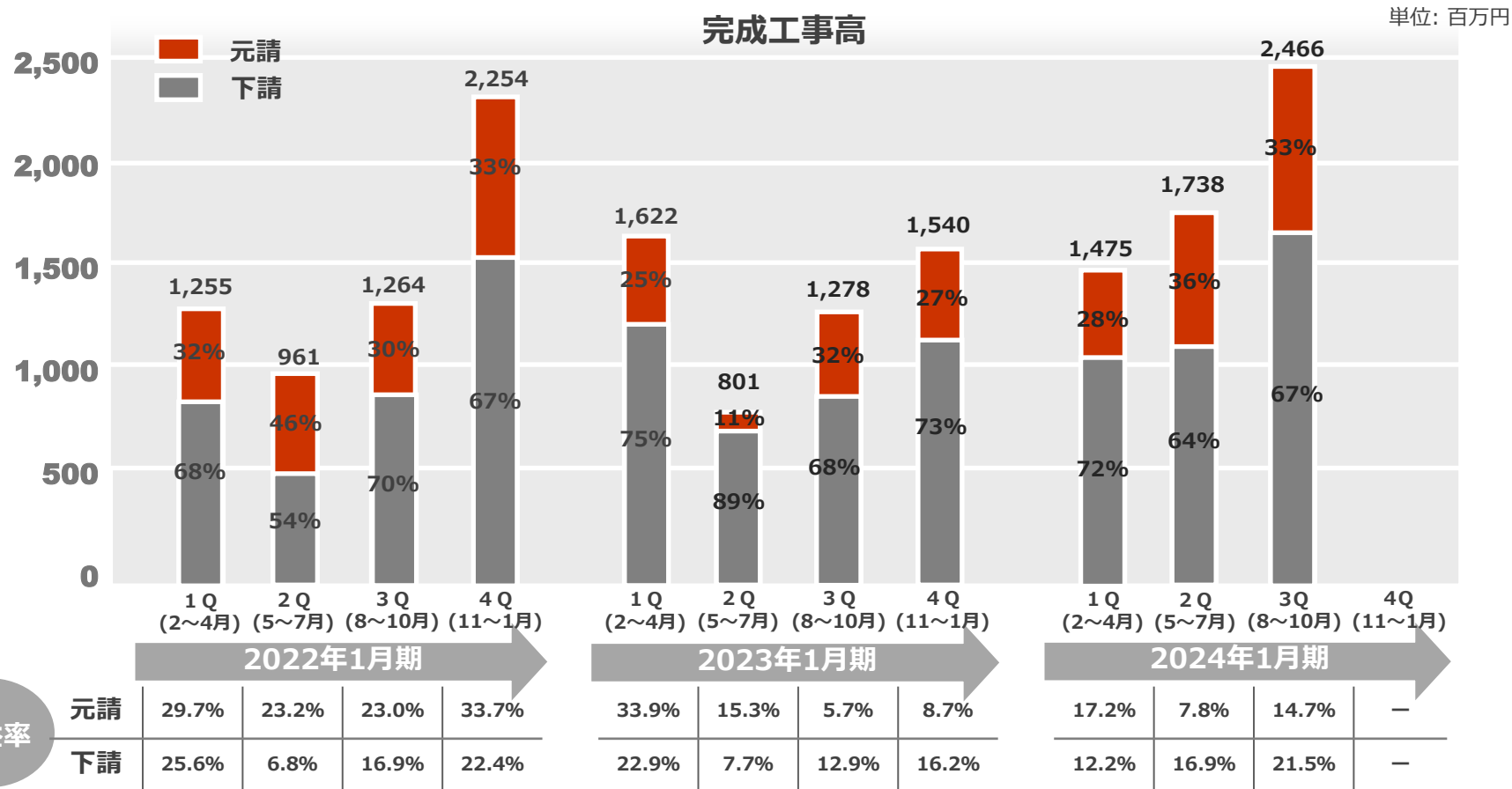
完成工事高

単位: 百万円



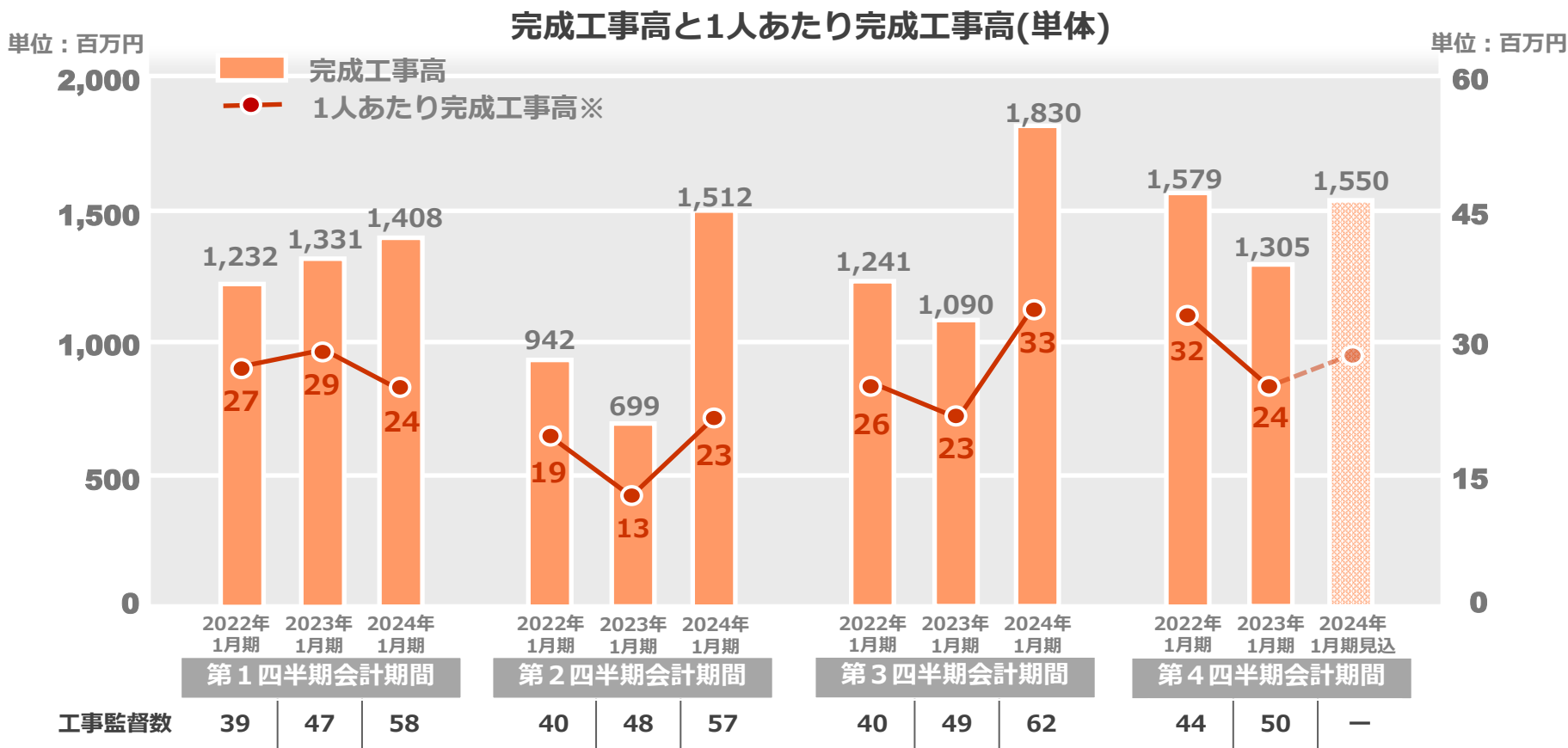
完成工事高に占める元請案件の推移

解体需要の増加と新規営業活動への注力により、元請工事の割合が増えております。新規顧客の場合は、営業施策上の理由により利益率が低くなることもありますが、将来の成長に向けて今後も元請工事を積極的に受注してまいります。



1人あたり完成工事高(単体)の推移について① 会計期間

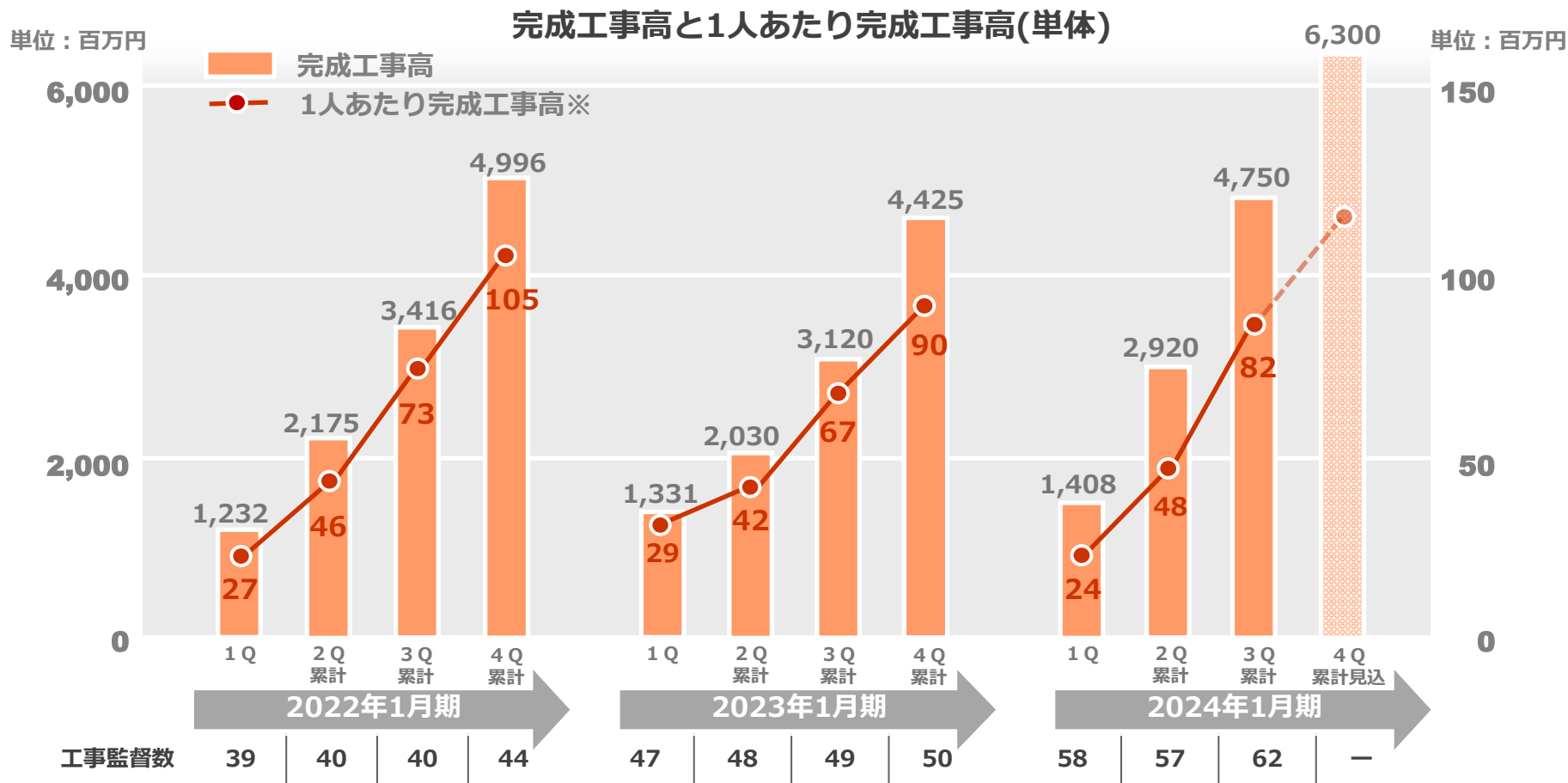
当社の工事監督者1人あたり完成工事高は、これまで年間2億円程度でした。現在も同水準まで受注可能ですが、安全に配慮し十分なゆとりを持ち、さらなる受注獲得が可能な現場体制を整えることを優先し、近年は年間1億円(3か月平均約25百万円)以下になるように人員配置を行っております。



※総労働時間から算出した想定稼働人数で計算しているため、実際の工事監督数とは異なる場合があります

1人あたり完成工事高(単体)の推移について② 累計期間

2024年1月期は受注状況が良好のため、1人あたり完成工事高は増加傾向にあります。前項に記載の通り、今後の解体需要の増加に備えてゆとりを持った受注ができる人員配置を行うため、1人あたり完成工事高の水準が年間1億円以下に落ち着くよう、引き続き採用活動を強化してまいります。



※総労働時間から算出した想定稼働人数で計算しているため、実際の工事監督数とは異なる場合があります

販売費及び一般管理費：第3四半期（2024年1月期）

販管費は、中期経営計画に基づき積極的に人材採用への投資を進めた結果、人件費や採用費が増加しました。今後も、事業規模拡大のために採用活動を積極的に進めてまいります。

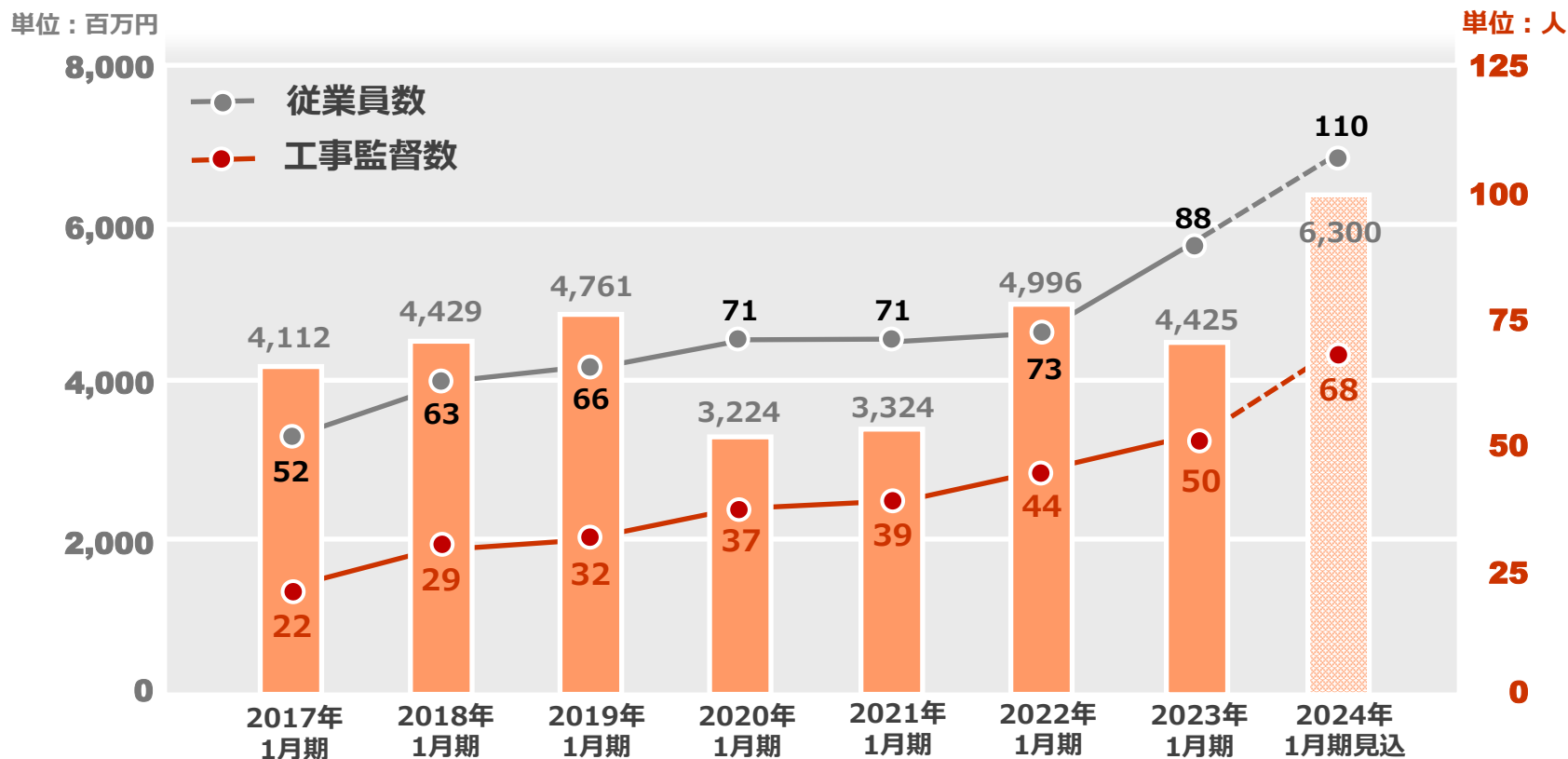
単位：百万円

	2024年1月期 第3四半期	前年同期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	主な増減要因
人件費	455	354	100	28.4%	人員増
支払手数料 支払報酬	116	58	58	100.2%	営業協力費用 M&A関連費用
採用費	52	12	40	312.3%	広告媒体、紹介手数料等
広告宣伝費	23	24	0	▲2.2%	
その他	223	199	23	11.8%	のれん償却
合計	871	649	221	34.2%	

人員計画の進捗(単体)

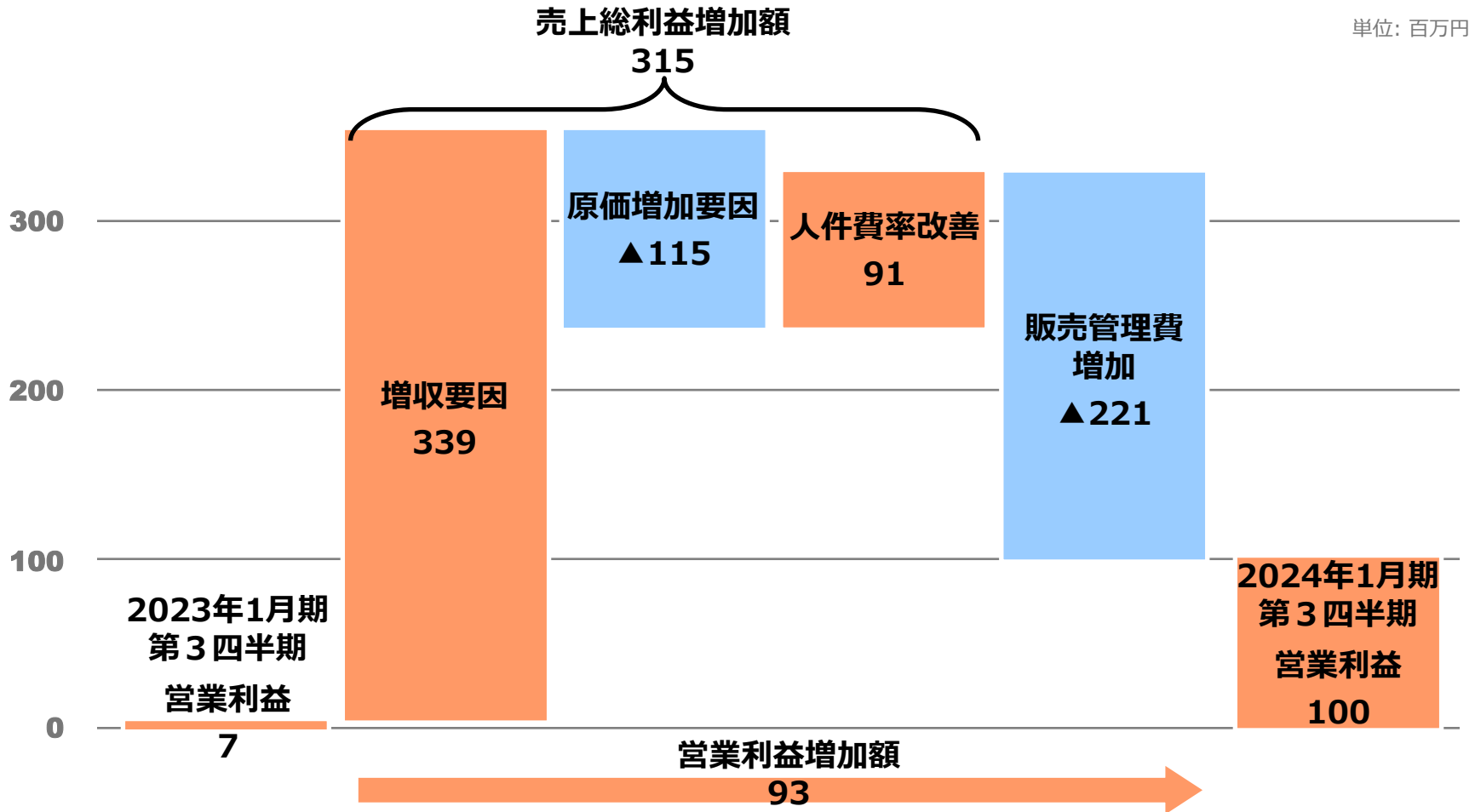
積極的な採用活動により、工事監督者の採用は順調に進んでおります。
発表日現在、工事監督数は、期首から14名純増の64名となっております。

完成工事高と人員数(単体)



営業利益の増減要因分析：第3四半期（2024年1月期）

工事の順調な進捗による増収と人件費率の改善により、赤字工事による原価率低下の影響および販管費の増加を吸収し、営業利益は増益となっております。



貸借対照表：第3四半期(2024年1月期)

単位：百万円

	2024年1月期 第3四半期	前連結会計年度末	増減額	主な増減要因
流動資産	5,773	3,568	2,204	工事件数増加に伴う 売掛債権の増加によるもの
(うち現金預金)	(2,315)	(1,337)	(977)	
固定資産	4,362	4,859	▲497	投資有価証券の評価替えによるもの
流動負債	4,314	1,865	2,449	短期借入金の増加によるもの
固定負債	2,026	2,183	▲157	繰延税金負債の減少によるもの
純資産	3,794	4,379	▲584	投資有価証券の評価替えによるもの
総資産	10,135	8,427	1,707	
自己資本比率	37.4%	51.8%	—	
1株当たり純資産	427円	493円	—	

受注状況：第3四半期(2024年1月期)

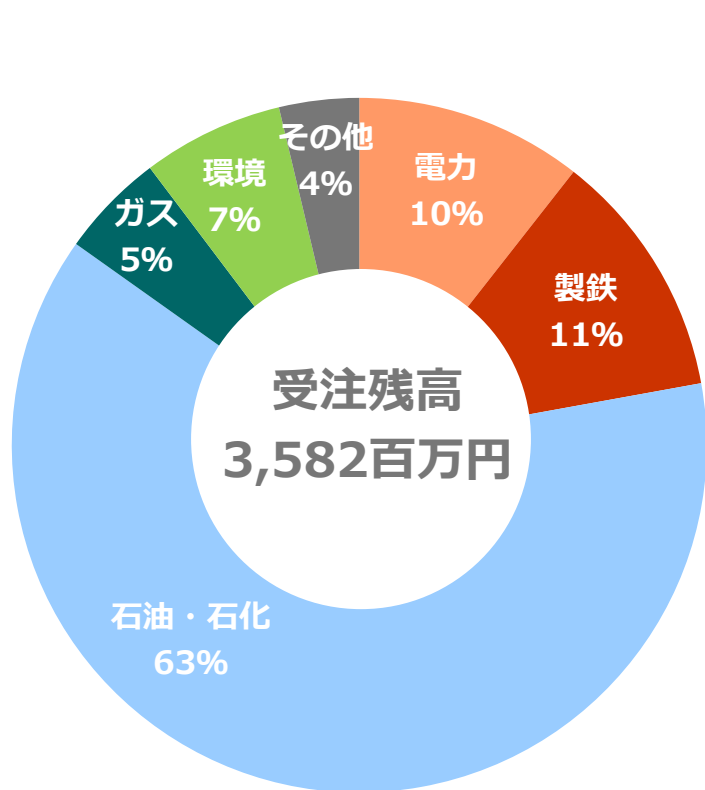
大型工事の受注により、受注工事高は前年同期比5,008百万円(88.0%)増、受注残高は前年同期比4,788百万円(133.7%)増で推移しており、引き合いの状況は極めて良好であります。

	2024年1月期 第3四半期	前年同期	増減額	増減率
期首繰越工事高	3,352	1,594	1,757	110.3%
受注工事高	10,698	5,690	5,008	88.0%
完成工事高	5,680	3,701	1,978	53.4%
期末繰越工事高 (受注残高)	8,370	3,582	4,788	133.7%

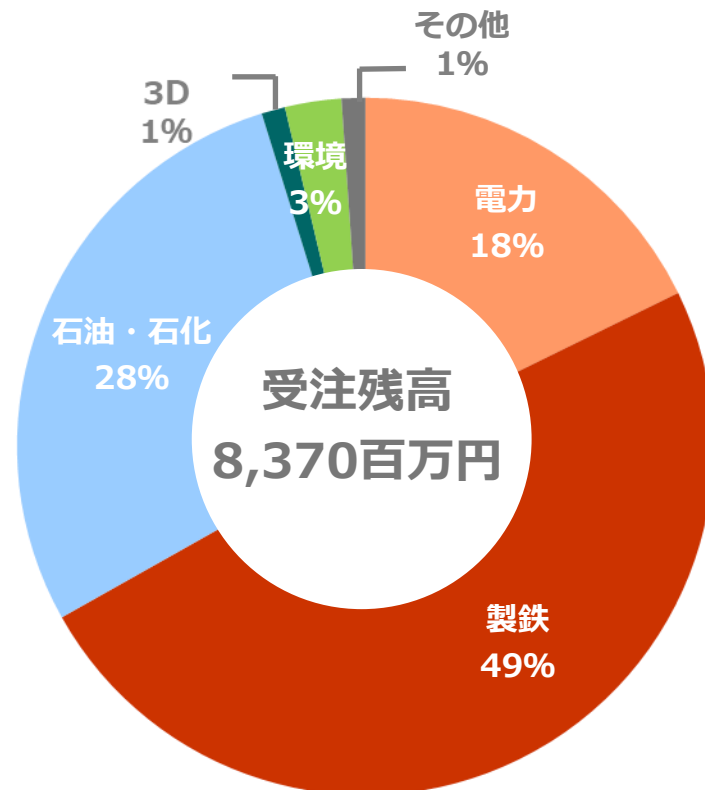
単位：百万円

業界別 受注残高構成比率

2024年1月期は、製鉄および電力業界で大型工事の受注があり、受注残高に占める比率が前年よりも高くなっております。



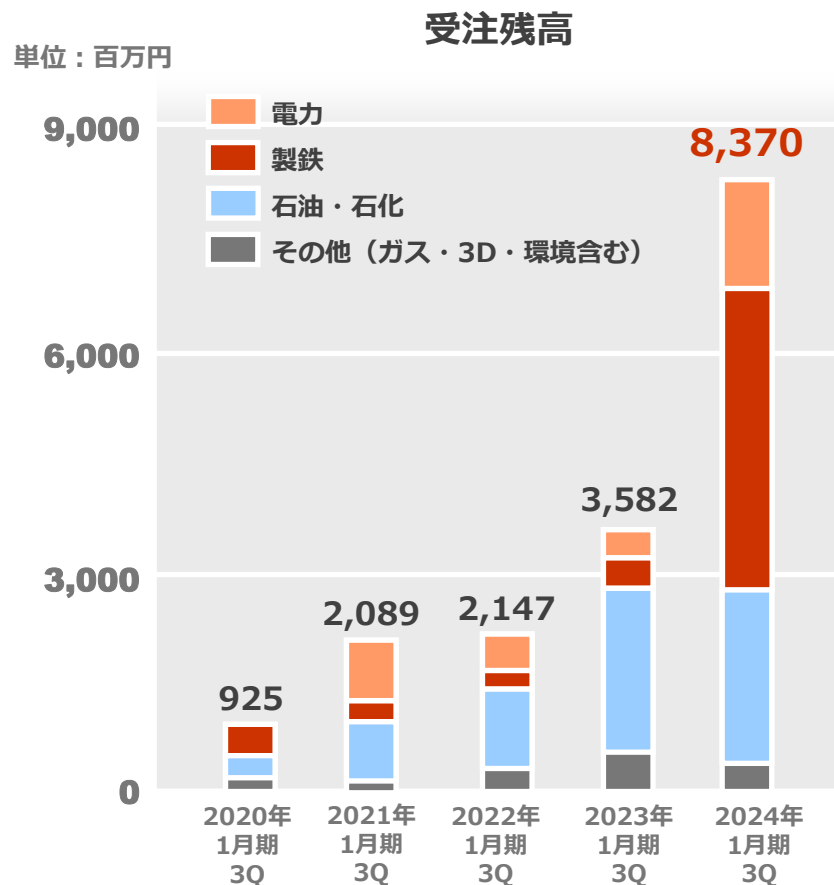
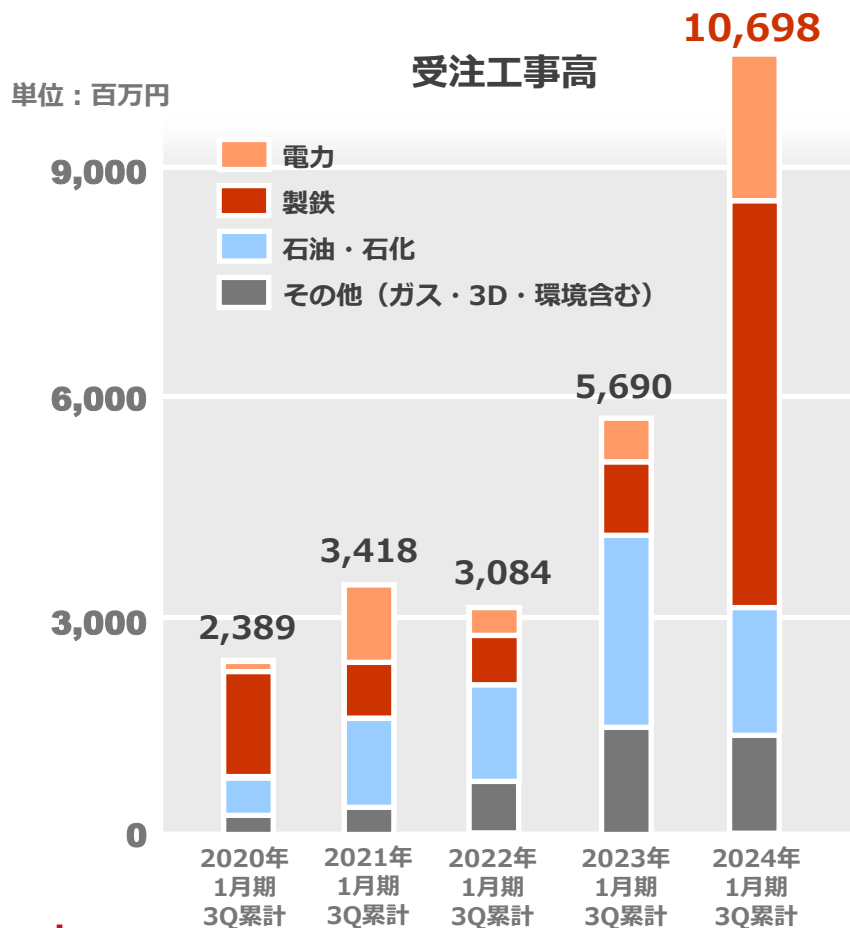
2023年1月期（第3四半期）



2024年1月期（第3四半期）

受注状況の推移について

2024年1月期は、電力および石油・石油化学業界での大型元請工事に加え、製鉄業界でも大型工事の受注があり、受注状況は極めて良好です。今後も拡大する解体需要を取り込み、着実に工事を受注してまいります。



業績予想 (2024年1月期)

先行して進捗している低利益率工事の影響、工事受注量が増大する過程で発生した赤字工事の影響により、2023年9月8日付で業績予想の修正を行っております。

単位: 百万円

	修正後 業績予想 2024年1月期	当初 業績予想 2024年1月期	増減率	実績 2023年1月期
売上高	8,000	7,800	2.6%	5,458
営業利益	210	510	▲58.8%	▲215
経常利益	286	586	▲51.2%	▲94
親会社株主に帰属 する当期純利益	195	400	▲51.3%	▲64
1株当たり 当期純利益	22円	45円	—	▲7円
1株当たり配当金	20円	20円	—	20円
配当性向	90.7%	44.3%	—	—

※2023年9月8日付修正

本資料についてのご留意事項

- 本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の予測等は現時点で入手された情報に基づくものであり、市況、競合状況等、多くの不確実な要因を受けます。
- 本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

ベストセラ株式会社

